

平成29年度 第1回座間市総合戦略推進懇話会 会議録

日 時 平成30年2月8日(木) 10時30分～11時50分

場 所 座間市役所3階 3-1会議室

出席者 鍛冶委員、黒部委員、長本委員長、船本委員、村山副委員長

事務局 小林企画財政部長、安藤企画政策課長、會田企画政策係長、山本主事
小西主事、小澤主事

傍聴者 無し

公開可否 公開 一部公開 非公開

議 題 ・「座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」点検・評価報告書について

資 料 ・「座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」平成29年度点検・評価報告書(案)
・参考資料 座間市の人口の将来推計
・参考資料 ZAMA Benchmarking

《開 会》

- 開会
- 企画財政部長挨拶
- 委員自己紹介、事務局紹介
- 委員長、副委員長選任

《議題》

議題 「座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」点検・評価報告書について

- 事務局から資料説明

(委員長)

それでは、ただ今の事務局からの説明について、御意見・御質問がございましたら、よろしく
お願いいたします。

(委員)

K P I 2-④の事業継承セミナーについて、セミナーの内容はどのようなものなのでしょうか。
どの業種においても、後継者が決まっている方は身内が多いと思います。セミナーの内容は既に
決まっている企業、候補者がいる企業も含めて、税金関係を円滑進めていくための内容なのか。
事業承継を諦めている方と事業をやってみたい方とをマッチングさせるシステムを紹介するよう
な内容も考えられると思います。セミナーの中身を分かる範囲で教えていただけるといいでしょうか。

(事務局)

前半は贈与税や相続税などの税金関係の事務的な話で、後半部分についてはマッチングシステ
ム等の事例の説明、事業承継の成功例に関する内容のセミナーでした。

(委員)

事業承継セミナーについてはマッチングに関する内容を充実させていく事が重要だと思います
ので、これは意見として出させていただきます。

(委員長)

毎月1回商工会で、商工会入会退会の承認の場があります。退会される方々のほぼ100%が、
倒産ではなく廃業です。廃業ということは裏を返せば借金がないということです。借金があれば
倒産になるので。黒字の会社が「後継者がいない」と言った理由で廃業するケースが非常に多
なっています。事業承継は経営者が若いうちからやっていると、高齢になってからでは間に
合わなくなってしまいます。

今後も継続してセミナーなど事業承継を勉強する場を設けていただければと思います。

他に何か御質問、御意見はありますでしょうか。

(委員)

何点かございます。

事務局からの説明で、K P I 1 - ①の市のホームページの閲覧数について、各個別項目は増えているということでした。努力されたうえで魅力のあるページを作って、P Rされた結果だと思うので、そういった努力が分かるような形にした方が良いと思います。

(副委員長)

今の御意見と全く同じことを考えていました。例えばネットの技術的などところでアクセスの仕方等がここ2～3年で変わってきたのであれば、K P I 自体を修正してもいいのではないかと思います。

(委員)

K P I 2 - ③のロボット導入セミナーの関係ですが、非常に丁寧な内容で、こちらの目標についてはニーズがないということでそれはその通りだと思います。

一方で県央地域全体としては「さがみロボット産業特区の推進」ということでいろいろな取組をしていると思います。このK P Iは産業用ロボットにフォーカスをあてたという説明がありましたが、今後、ロボット産業は高齢の方が増え、介護が必要な方が増えていく中で必須であり、産業の面で注目すべき分野だと思いますので、ロボット産業自体には注目していただきたいと思います。

K P I 3 - ①の合計特殊出生率の内容で「開発などで若い世代が多く転入した場合などの短期的な要因の方が合計特殊出生率の変化への影響が大きいと考えられます」という記述がありますが、県としても子どもを産み育てるという選択をしていただけるような社会環境、制度の充実、そして気運を醸成できるような取組を進めることが大変重要だと思っています。是非、市町村とも一緒にやっていきたいと考えています。

最後にK P I 4 - ④の健康寿命の延伸について、今後、高齢人口が増えていくことは変えようがない事実ですので、未病センター構想の考え方を含めて記載されていることが重要だと思います。県では人生100歳時代ということで、単純な長生きではなく、健康寿命にフォーカスを当てて施策展開をしていきたいと考えています。県と市町村それぞれ役割は違いますが、目標は一緒ですので、県で取り組んでいるところも御活用いただきながら、県としても市の取組に御協力させていただきたいと思います。

(事務局)

今いただいた5つの意見についてお答えさせていただきます。

まずK P I 1-⑤の市のホームページに関する御意見ですが、今掲げている18のK P Iの目標値に修正を加える考えはありません。「座間市総合戦略」は、多くの外部有識者の方等に御意見をいただきながら策定したものですので、その経過を残すといった意味でも目標値の修正はしません。ただ、委員からありましたように、現状の分析は担当課と調整して工夫していきたいと思っています。

次にロボット導入支援セミナーについて、今回ロボット産業に関するアンケートを実施して、座間市では特にニーズがないという結果となりましたが、この分野については、今後も担当課とよく相談しながら別の手法で進めていきたいと思っています。

次に合計特殊出生率について、市単位では値の変動が大きいですので、もう少し視野を広げ、地域間で連携をしながら取組を進めていきたいと思っています。市では公民館で婚活支援講座を実施していて、これがかなり好評のようですので、こういった取組を前面に押し出せるように努力していきたいと思っています。

最期に健康寿命の延伸につきましては、健康センターに「健康度見える化コーナー」を設置しています。そういったところを活用しながら、県とも協力をしていきたいと思っています。

(委員長)

他にありますか。

(委員)

2点あります。

まずK P I 2-③の「生きがいを感じている高齢者の割合」についてですが、「生きがい」について、どこに視点を置くのかが大きな課題だと思います。例えば学習だとか趣味だとかを生きがいにされる方もいらっしゃいますし、働くことによって生きがいを感じる方もいらっしゃると思います。そういった方は、これからもどんどん増えていくと思います。このK P Iは「遅れている」と評価されていますが、評価の視点を今一度見直すことで次の施策に繋がるのではないのでしょうか。

もう1点、K P I 4-②の内容を見ると、道路政策であまり良いと思っていない方が結構いるようですが、これはアンケートを実施した時にどのような聞き方をしたのでしょうか。国道と市道、生活道路の区別をどのようにつけたのか伺いたいと思います。

(事務局)

「高齢者の生きがい」については健康に関すること、経済的なことが大きな要因であるということ承知しています。また、働きたいけれど働けない、という方の理由の多くが年齢制限によって就職できないということが大きな要因です。これについては、市と企業で連携して、就業の機会を増やすことができると考えていますが、具体的なことについては担当課と調整したいと思います。

道路につきまして、2年に1度実施しているアンケートの質問内容は「安全快適な道路になってきているか」という質問で、回答者が自分の身近な生活道路や幹線道路全体を通して感じた回答となっています。この回答は地域によって異なる傾向があり、例えば相模が丘地域は、二ツ塚線が整備されてきましたので満足している人が多くなっています。長年にわたる市の課題ですので、数値を一気に上げることはなかなかできないのが現状です。

(副委員長)

基本目標1～4は相互に関係していると思えました。先ほど出た後継者不足の問題は、まちづくりにも繋がっていくと思います。そういった施策を関連付けて評価をしていてもらいたいと思います。

また、K P I 3-③駅周辺地区の人口について、駅周辺の人口増加を目標に設定しています。市全体の人口減少をいかにして食い止めるかについても考えていると思いますが、駅周辺の人口が増えることによって他の地区への影響はないのでしょうか。

(事務局)

駅周辺地区の人口増加を目標としたのは、まちの「顔」である駅周辺地区の人口を増加させ、対外的に賑やかな、活気のあるまちをPRすることによって、市全体の活性化に繋げるためです。

市全体の人口減少問題の解決はもちろんですが、そういった理由から特に駅周辺地区の人口増加をK P Iとして設定しています。

(委員)

市内各地域で人口を取り合うのではなく、全体的な人口増加のために、まずは市の入り口である駅周辺の人口をK P Iとして取り上げた、ということですね。

(委員長)

調査をしていく中で、もう少し広い範囲で地域や物を捉える必要があると思います。例えば先ほどの駅周辺地区は、小田急相模原駅、相武台前駅、座間駅、さがみ野駅の4駅周辺地区と記載されていますが、この中で座間市域にある駅は2つです。残りの2つの駅は立地的には市外の駅です。そういったことから、もう少し広い範囲で考えていかないといけないと思います。近隣市等のデータもあった方がもっと分かり易くなるのではないのでしょうか。

(事務局)

いくつかのK P Iの現状説明には、近隣市町村や神奈川県との比較といったデータも掲載しています。次年度以降の点検・評価報告書を作成する際に検討します。

(委員長)

他に無いようであれば、本日いただいた皆様の御意見及び報告書(案)等について、改めて事務局で精査していただければと思います。

その他

○事務局から今後のスケジュールについて説明

《閉 会》

以上